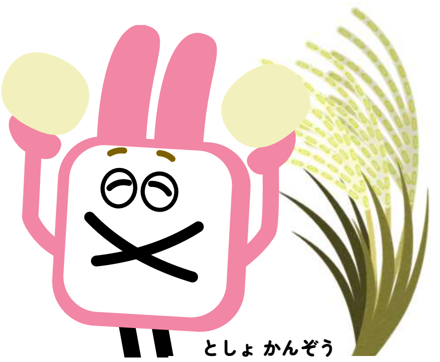
1・2・3年生向け

9月号

\\ としょかんへいこう //

わくわく本だな

あたらしい本をしょうかいします！



『イリエワニ』

福田雄介／文
関俊一／絵
福音館書店

えほん　世界最大（全長6メートル！）のワニのお話です。

『しょうがっこうが、きらいです！』

山本悦子／作
佐藤真紀子／絵
あかね書房

1・2 ものがたり　マユは、どうして学校に行きたくないのかな？

『いちかちゃん』

いとうみく／作
中田いくみ／絵
くもん出版

1・2 ものがたり　いちかちゃんって、とってもうっかりやさん。

『消えた校長先生』

西村友里／作
大庭賢哉／絵
Gakken

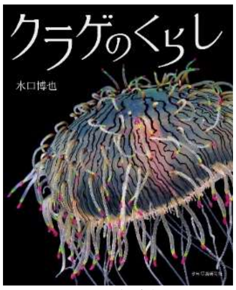
3・4 ものがたり　おれたちの校長先生は、実はヘビらしい……。

『たいせつなたまご』

キッチンミノル／著
白泉社

ちしきの本　おいしいたまごは、どこからくるのかな？

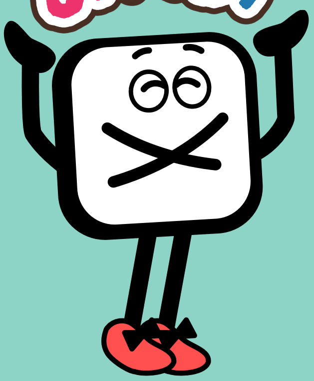
『クラゲのくらし』



水口博也／著
少年写真新聞社

ちしきの本　5億年も前から、地球にくらしているんだ。

今月のおすすめ



『気のつよいちいさな女とわるいかいぞくのはなし』

ジョイ・カウリー／文
当麻ゆか／訳
佐竹美保／絵
徳間書店

えほん

あらしの日、わるいかいぞくが家にやってきて「中に入れろ！」と言いました。けれども、女はかいぞくを中に入れようとしません。するとかいぞくが「くらいのがこわい」と言い出して……。

『くよくよしてもしかたがない！』

ワンダ・ガアグ／再話・絵
小宮由／訳
瑞雲舎

3・4 ものがたり

おひゃくしょうのフリッツルは、おくさんと仕事を取りかえます。家の中で楽ができると思いましたが、おくさんの仕事はたいへんです。フリッツルは、しっぱいばかりして家の中をめちゃくちゃにしてしまいます。

図書館HPからもみられる！

富山市立図書館 こども版 としょかんだより
2024年　9月号 / No.467

編集発行　富山市立図書館
富山市西町5番1号 電話：076-461-3200

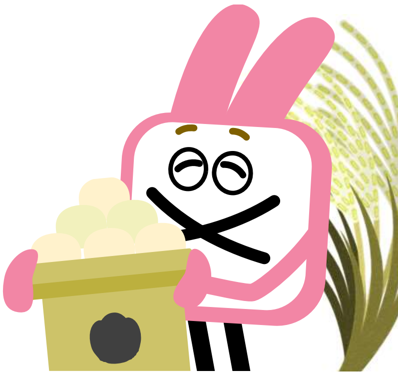
4·5·6年生向け

9月号

としょかんへいこう

わくわく本だな

あたらしい本をしょうかいします！



としょ かんぞう

『魔女がやってきた！』

マーガレット・マーヒー／作
尾崎愛子／訳
はたこうしろう／絵
徳間書店

3·4 物語　おかしな魔女のお話が5つ入っています。

『バラクラバ・ボーイ』

ジェニー・ロブソン／作
もりうちすみこ／訳
黒須高嶺／絵
文研出版

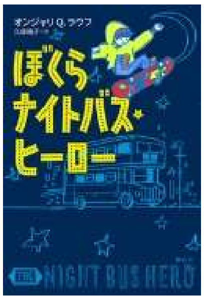
3·4 物語　転校生が帽子で顔をかくしている理由をさぐれ！

『ラナと竜の方舟　沙漠の空に歌え』

新藤悦子／作
佐竹美保／絵
理論社

5·6 物語　故郷から逃げてきたラナ。これからどこへ行こう？

『ぼくらナイトバス・ヒーロー』



オンジャリ Q. ラウフ／作
久保陽子／訳
静山社

5·6 物語　ヒーローはいじめっ子とホームレスのおじさん？

『動物の義足やさん』

沢田俊子／文
講談社

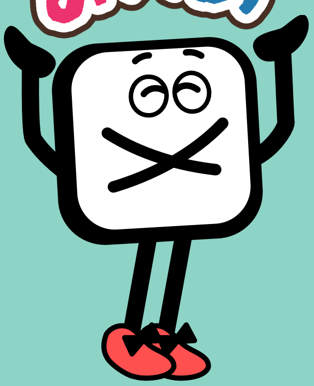
ちしきの本　どんな動物も、自分の力で自由に動けるように。

『宇宙ステーションおしごと大図鑑』

野口聡一／日本語版監修
DK社／編
桑原洋子／訳
河出書房新社

ちしきの本　宇宙飛行士って、そもそも宇宙で何をしているの？

今月のおすすめ



『恐竜のあたまの中をのぞいたら　脳科学でさぐる恐竜の感覚』

大島英太郎／作
河部壮一郎／監修
福音館書店

ちしきの本

おじさんに連れられて、ぼくは博物館で恐竜の頭の化石を見ます。でも、化石の中はからっぽ。おじさんは、これを見るだけで恐竜が生きていたときの様子がわかると言います。

『ラッキーボトル号の冒険』

クリス・ウォーメル／作
柳井薫／訳
徳間書店

5·6 物語

海であらしにあい、孤島に流れ着いたジャックは、ロビンソンという大男に助けられました。二人は島にかくされた謎を解き明かし、一本のビンを使って脱出します。

図書館HPからもみられる！

富山市立図書館 こども版 としょかんだより
2024年　9月号 / No.467

編集発行　富山市立図書館
富山市西町5番1号 電話：076-461-3200